西東京市市民協働推進センター

令和３年度第２回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：令和３年５月 18 日(火)午後７時 00 分～８時 00 分
■開催場所：オンライン開催（Zoom）
■出席委員：川村委員、佐藤(新)委員、佐藤(文)委員、柴委員、永野委員、樋口委員、久松委員、平林委員、星委員、馬渕委員、森谷委員、山本委員<以上 12 名、五十音順>
■事 務 局：小松センター長、鈴木副センター長、小口福祉活動推進課長、利光地域福祉推進係長、塚澤主任

1.報　告　事　項

1.事業報告について

事務局より、４月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談に対する質疑応答とした。

委　員：ホームページのアクセス数だが、４月が前年対比でかなり伸びている内容を知りたい。

事務局：緊急事態宣言に伴いゆめこらぼの施設利用制限についてのお知らせに対するアクセスとアクセストップ 10 に入っているこどもの笑顔を守る会がアンケートやオンラインお話し会についてのお知らせなどのアクセスが多かったためと思われる。

委　員：今年度更新を行わなかった団体９団体あるが、その理由を知りたい。

事務局：①から順番に説明する。①は代表から現在活動をしていないので、今年度は更新しない旨連絡があった。②5 年ほど連絡が取れず、代表の方が入院など活動を休止している為。④と⑥は更新しない旨の連絡がきた。③⑤⑦⑧⑨については、団体紹介冊子の掲載もなく、メール、電話でも３年以上連絡が取れないため今年度は登録の更新をしないこととした。

委　員：今の説明だと、登録更新をしない基準を満たさないと外すとしいう明確な決まりがないということか。

事務局：更新について明確な決まりが無かった。そのため何年も連絡が取れない団体が存在してしまい、今年度から３年間連絡が取れなかった場合は一旦登録を抹消させていただく旨の一文を団体登録の手続きの書類に入れた。

委　員：活動分野はいくつあるのか。

事務局：NPO 法と同じ数である。

委　員：④と⑥だが、更新しない意思表示があったとのことだが、ゆめこらぼに登録していてもメリットがない等の理由はあったのか。

事務局：どちらの団体も更新しない理由としては、現在は団体として活動していないため更新しない旨の連絡であった。

委員長：多摩きた生活クラブが新規登録しているが、生協として仕事の部分もあると思う。市民活動に寄った活動をしているから、今後こういう団体が入ることで西東京市の協働推進にとってのメリットはどのようなことが考えられるのか。ゆめこらぼが生協側に寄っていかれるのかが気になる。

事務局：生協だからとか法人格だからというカタチでとらえていない。生協の活動にゆめこらぼが寄っていくなどは考えていなかったが、市民活動団体が登録するということは、広報支援や技

術的な支援などできることがあると思う。また、地域の課題解決なども協働で出来ることがあるのではないかと可能性を感じている。

委員長：面白いことが出来るのではないかと思う。

2. 5-6 月以降の事業について

事務局より、5-6 月以降の実施事業について説明があった。

委員長：こそだてフェスタの概要を教えて欲しい。

委　員：こそだてフェスタは、こそだてフェスタの実行委員会と西東京市が共催という形で開催している。昨年 10 回目の予定であったが、コロナの関係で開催出来なかった。今年度オンライン形式での開催を予定している。社協にも協力してもらっている。子育てに関しての情報が集約されている場がないため、こそだてフェスタに来ることに市で活動している団体など知る機会や横のつながりを作ることができるイベントである。

事務局：こみゅラジだが、ゆめこらぼが企画提案し、FM 西東京で地域の団体が出資したラジオ番組である。機会があれば視聴して欲しい。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：意見がなければ確定稿とする。

3. 協　議　事　項

1.センターの業務執行に関する事項について

事務局より、サロン DE こらぼ（案）について説明があった。

委　員：概要でオンライン対応にも着目した支援を検討するとあるが、内容が知りたい。

事務局：オンライン対応の中身だが、ゆめこらぼには市民活動団体向けにｉＰａｄが３台ある。持ち出しはできないが、サロンで貸し出し Zoom 会議など、市民活動団体がオンラインに慣れていただく為にゆめこらぼのサロンコーナーで実際にｉＰａｄを利用してもらうなど、最初のステップで伴走する支援だ。

委　員：展示コーナーのテーマだが、ゆめこらぼの登録団体からの希望があれば提案を受けてもらえるのか。

事務局：テーマの決め方は決めていない。５月は子どもの日もあるので子ども関連の情報を展示している。今後は登録団体からの提案や意見があればスタッフで検討して取り入れていきたい。

委　員：センターの中の紹介動画を作成し、ホームページで視聴できると良い。

委　員：現在流している活動団体の紹介動画は何団体くらいあるのか。

事務局： NPO 市民フェスティバルに参加してもらった団体なので 40 団体ほどである。

委　員：ゆめこらぼの紹介だが動画はイメージがわきやすいので、紙折り機等実際に利用している場面を取り入れても良いと思う。

委員長：オンラインでなにかを発信したい団体があれば、サロンで機材を含め支援できる。サロンスペースは、情報を取りに来た人に対して渡せる場であり、団体のミニ展示もできると思う。東京ボラセンに訪問したとき、相談コーナーや資料があるなどとても使いやすいレイアウトだった。

委　員：許可を得ながら、実際に団体が活動している様子をためて動画を作成すると、とても良い動画が出来るのではないか。

委　員：サロン内ツアーを動画にして字幕を付けるとより伝わりやすい。動画で発信するだけで興味がわくし、SNS にアップするのも週に 1 回等、定期的に発信することも効果的である。折り機は使い方も含めて発信すると利用者が増えるのではないか。

委　員：市民活動を応援していくうえで、設備だけではないサービスや情報提供やつながりは市民の資産である。イメージやメッセージを伝えることにより、市民が「私たちのためにゆめこらぼはあるのね」と思ってもらえる。例えば、折り機に特化した動画を上げるとかいろいろな工夫をして柔軟に楽しみながら、情報発信をしていくと伝わり方も変わっていくのではないか。

事務局：可視化して情報を発信することの大切さを改めて認識した。委員の意見を取り入れて進めていく。

委員長：企画の進捗は随時報告して欲しい。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：7 月 20 日（火）19 時～21 時

会場：オンライン開催（Zoom）